

0403

四船でりい丸の戦斗

昭和十九年一月二十九日

昭
和
十
九
年
一
月
二
十
九
日

で
り
い
丸
砲
艦
長

左ノ件提出(送付)

横
鎮
乙
作
戦
支
隊

で
り
い
丸
砲
艦
長
掃
三
三
驅
潜
五

戦
闘
詳
報

(別紙添)

本件提出(送付)先

海軍大臣、軍令部總長、横鎮長官、横防戦司令官、
武功調査、澤風、驅潜五〇、横防司令、第五十二掃司令、掃三三

終

0411

軍秘

横鎮乙作戦支隊

（下島風 掃三三 駆替存）

戦闘詳報

昭和十九年一月 自十九日 至十九日 八丈島東方海面對潜戦斗

横鎮乙作戦支隊指揮官

てりい丸砲艦長

横鎮乙作戦支隊

（一）
（二）
（三）
（四）
（五）

戦闘詳報

（昭和十九年一月）
（自十九日）
（八丈島東方海面に於ける對潜戦闘）

一、形勢

（一）敵情

八丈島附近海面及遠州灘熊野灘方面敵潜、出没活潑ニシテ其ノ

跳梁激化セリ

（二）友軍状況

前年十二月末旬遠州灘熊野灘方面ニ於ケル味方船團、被害大其
ノ後一時影ヲ潜メシガ如ク認マラレシ所一月中旬始頃ヨリ再び跳梁
ル所トナリ八丈島及熊野灘方面ニ於ケル船團、被害相繼グニ至リ

當面部隊全力ヲ舉ゲ對潛掃蕩ニ任ジツツアリ特ニ八丈島方面ニ於テハ第五十三掃海隊司令指揮下ノ掃二十三、二十四驅逐艦汎風及初島對潛掃蕩ニ從事中ナリ

六月候

十五日	晴	風向北乃至西	風速七米乃至十五米
十六日	晴	風向西乃至北西	風速十五米乃至十八米
十七日	晴	風向北西	風速十五米乃至十八米

三計函

機密横鎮信電令作第二十七号ニ依リ當初でリハ及驅逐五〇ヲ以テ横鎮ニ作戰支隊ヲ編成爾後掃二十三及驅逐艦汎風ヲ當

0180

支隊

支隊ニ加入セシメラルロトニ予定サレハ八丈島東方海面敵潛誘致索敵掃蕩作戦ニ任ゼシメラル

本作戰要領ニ關シテハ横鎮ヨリ別ニ指示サル予定ノ所都合ニ依リ特

ニ指示ナキヨ以テ別圖第一ニ依ル行動海面ヲ選定シ併セ横須賀方

面及ハ八丈島飛行機協同ノ圖内ニ於テ行動以テ敵潛ヲ八丈島東

方海面ニ誘致シテ捕捉撃滅ヲ期セリ

尚飛行機ト協同ヲ期スル為行動中可及的昼間時間ヲ多ク

シ更ニ八丈島方面對潛掃蕩中ノ沢風掃二十三當支隊合

同時及場所等ノ關係ヲモ考慮シ横須賀出撃時刻ヲ十

五日一ニ〇。速力ハ節ト計畫セリ

三經 過

一月十五日一ニ〇。でりい九及驅潜五〇。でりい九砲艦長指揮

シ横須賀ヲ出撃セリ東京灣防衛宗海面通過後掃蕩隊

形（でりい丸、左九十度四料駆替五〇）ヲ制形警戒ヲ嚴ニシ之
 字運動ヲ行ヒツツ速力概ネ八節ニテ南下セリ
 一八三。大島東方ニ。理附近ニ於テでりい丸一艘一四〇。米附
 近ニ敵潜ヲシキモ、ヲ探知極力之ガ捕捉ニ努メタルモ確信ヲ得ズ
 約一時間ニ亘リ驅替五〇ト共ニ附近ヲ搜查セルモ遂ニ何等得ル所
 ナクニ三〇。迄第三哨戒配備以後第三哨戒配備ニ轉換針路
 一七二度トナセリ

でりい丸被雷時前後

敵潜伏在スルコト概ネ確實ナリ特ニ見張及水測兵器ニ依ル警戒
 戒ヲ嚴ニシツツ索敵中十六日〇〇ニ。御藏島ノ七〇度ニ。理ニ
 於テ突如左舷附近ニ被雷（雷跡ヲ認メ居ラズ）直ニ總員
 警戦斗配置ニ配シ防木ヲ下令又見張警戒ニ任ゼリ 驅替五〇
 ニ對シテノ規約信号ヲ以テ左舷伏在敵潜ヲ警戒セシメ更ニ左

敵前方ニ敵潜在リ我雷撃ヲ通知スルト共ニ專ニ敵潛攻敵ニ
當テシム

艦内損所ヲ探査スルニ艦橋ヨリ前部ハ切斷セルモ後方ニハ大ナル損所
ナキヲ確認セルヲ以テ見張ヲ嚴ニスルト共ニ後方大砲二門ヲ以テ敵
潜水艦ニ備ハリ又全カヲ以テ防水及排水作業ニ從事シ艦内浸
水狀況ニ當ラシム

其ノ後正室ニハ若干浸水シ居ルモ速ニ排水シ得ルコト其ノ他浸水
個所ヲ認メズ主機械及發電機(1)装置外全部ハ運轉使
用可能ナルヲ確メ得タリ船体ハ稍傾斜シ居リシモ此ノ狀
態ナニシテ沈没ノ虞ナシト思料セリ又一方秘密物件處置準
備ヲ命ジ機密書類散逸防止手段ヲ講ゼリ

當夜月アリ左舷側月光下反射ノ爲通視困難ナル外一般
ニ視界良好ナリシモ敵潛モ適確ナル雷跡ヲモ認メ居ニス僅ニ

左舷四〇度方向ニ雷跡近似ノ痕跡ヲ被雷後認めタルニナリキ
當時晴風向西風速十米波浪四目鈴ニ〇ニシテ左舷四〇
度（針路一七二度）高度約二十五度ナリ
（17）

驅潜五〇ハ索敵中ノ所ニニテリ丸ヨリ南四〇度西四理ニ敵
潜ヲ探知シ約十六分間二回ニ且リ攻撃ヲ行ハタルモ其効果ヲ
確認シ得ザリシヲ以テ附近海面ノ掃蕩ヲ續行セリ

テリ丸六其後浸水ノ虞ナキニ至レリト認めタルモ前方稍沈下
状態ニ在ルヲ以テ更ニ防水及遮防装置ヲ強化スルト共ニ在室床
浸水排水ニ全力ヲ注ギ他方前方炭庫石炭ヲ海中投棄及
人員後部ニ移動スル等浮力増大釣合ノ調節ヲ行フコトトセリ
時ニ〇一三〇頃ニシテ風力次第ニ加ハリ来リ波浪亦大トナリ艦前
方ヨリ海水浸ルノ虞レ飛ヲ風向ニ立テ附近ノ三宅島沿岸擱坐

目的ヨリ後進カニ依リ前進ハ觸損所ニ爲難(從困難)察従スルコト約
 三分ニ及ビタルモ舵利カズ寧シヨ觸風ニ立ツ傾向ニ在リシヲ以テ遂ニ機械
 使用ヨ断念シ事ヲ全カヨ以テ排水スルコトセリ當時艦ハ尚前方ヲ稍沈
 下セル儘ニシテ浸水個所モ概テ防止シ得タリ海上靜穩ナリ其ノ儘浮上
 可能ト認メシモ被雷後漸次風力ヲ増シ十五米乃至十七米ニ及ビ波浪亦
 愈高キヲ加ヘツツアリ然ルニ艦前方ヨリスル波浪ノ影響益大トナリ遂ニ
 海水ハ前部炭庫(艦橋直後在座前方)ニ飛入スルニ及ビテハ浮上可能
 ノ希望ナキニ至リタルモ炭庫満水ノ場合尚ヤ浮量ノ存スルアル確メ
 居タリシヲ以テ假令波浪影響アリト雖沈没迄米ダ約四乃至五
 時間ノ餘裕アリト思料セリ

〇三〇(沈没三十分前)タビットニ釣り出セル右舷カッター波浪ノ爲
 短艇索切斷シ流出セリ暗号書搭載シ居レル旨報告ニ接シ
 タルヲ以テ直ニ反對舷カッターヲ派遣シ之ガ捕捉ニ向カハシメタリ

15

當時流出カッターノ距離約二〇〇米ニシテ艦橋ヨリ常ニ進行
 方向ヲ指示シ居リシ所距離四〇〇米附近ニテ流出カッター突
 然行方ヲ没シ之ヲ見失ヒタリ 此ノ際顛覆セシモト認メタルモ
 派遣艇其ノ儘捕捉ニ向ハシメタリ

此ノ頃(沈没約十分前)ヨリ前方ニ且稍左ニ傾斜セリ

〇三三五(沈没五分前)波浪・影響甚大トナリシヲ以テ愈沈没屯ル
 能ハズト認メ總員退去ヲ決意シ員數ヲ調査セシメ各所一四〇名ノ
 報告ヲ得タリ次ニ總員上下令退去準備宜シト、報告ヲ得
 軍艦旗降下(時間ナキ爲本件寄實施シ得ズ)ノ上、總員退去
 ヲ令セリ正ニ沈没二分前、コトナリ突如大波浪來ルト見ル間ニ艦
 橋前方ヨリ沈下シ始メ遂ニ沈没セリ

時二十六日。三四〇位置御藏島(八五四)ノセ。度ニの渾ナリ

艦沈没迄ニ尚時間アリト思料シ居タルニ尙急激ニ沈下シ始メ

タルヲ以テ乗員八遂ニカッターニ分乘ヒシムル餘裕ナク海中ニ放出セラレ
 シリ艦長ハ沈下寸前ヨリ櫃橋後部ニ在リテ指揮シ居リシモ沈没下
 共ニ海中ニ卷キ込マレ海面ニ漂流スルコト約ニ時間驅潜五〇ニ救助
 サレ事後意識不明ニ留ルコト約七時間ニ及ベリ一ニ〇頃昏暈
 状態ヨリ醒レ掃蕩隊ノ指揮ヲ續行セリ

此間驅潜五〇附近海面ノ掃蕩ヲ續行シツツ廣シ範圍ニ且リ暗
 号青塔載カッター及浮流重要物件捜査及人命救助ニ從事
 セリ沢風ハ〇八三〇合同驅潜五〇ト共ニカッター及浮流重要物
 件捜査及人命救助ニ從事セリ掃二十三ハ一ニ〇現場着合同ヨリ
 此間漂流セル重要物件ナキヲ確メ得リ

ハ 掃蕩隊掃蕩開始後

一三〇〇驅潜五〇沢風掃二十三合同ヲ指揮シ四〇〇掃蕩開始セリ
 開始時五〇度ニ六涅掃蕩隊形横陣列距離ニキ口掃蕩

針路二四〇度 速ウ十二節

一五五 沢風南西方向約一〇〇〇米飛行機、爆撃スルヲ認メ
直ニ之ニ向首一五五 飛行機ノ誘導ニ依リ二回ニ亘リ攻撃ヲ
實施テ續テ驅潜五〇及掃二十三ヲ以テ逐次攻撃ヲ行ヘリ、更ニ
沢風攻撃ヲ行ヒ驅潜五〇之ニ近接シタル時其ノ楕方向約二〇〇
米 飛行機 爆撃ヲ敵潜位置ヲ指示シタルヲ以テ之ニ對シ攻
撃ヲ行ヘリ 攻撃終了一八一五（日没一七五二）ナリ
攻撃中附近ノ索敵ヲ續行スルト共ニ又効果ノ檢討ニ當リ、
現場少量ノ油絞ヲ認メタリシモ 夜暗ニ入り遂ニ効果ヲ確認
スルニ至ラザリシヲ以テ翌十七日夜明ヲ待テ確認スルコトトシ攻
撃中附近及約二千里圏内ニ索敵ニ重点ヲ置キ三隻ヲ以テ
區劃分担掃蕩配備ニ配置セリ 夜明後現場ヲ調査スルニ攻撃
中ヨリ相當多量ノ油湧出シ幅一〇〇米 東北方三哩以上流

出シテルコ確認セリ一〇〇〇。沢風攻撃中、兵ニ於テ相當量ノノ氣泡及多量ノ油噴出セシコ發見セリ爾後日没迄現場ニ於ケル位置及油湧出状態ニ變化ナキコ確認セリ

現場水深約一〇〇〇米ニシテ湧出油量ノ大ニシテ幅一〇〇米東北方三哩以上ニ流出シ攻撃開始後約一昼夜ニ及ブモ油湧出地與ニ變化ナキコト等ヲ綜合シ敵潛撃沈確實ト認ム地與御藏島(八五四)ノ七七度二三、五哩ナリ

日没後二十哩圈内掃蕩配備ニ配シ十八日、日没後、南確認ノ予定、所ハ支島南西五六哩更ニ敵潛出現シ緊急信運送中、旨横鎮ヨリ、通報ヲ得タルヲ以テ十八日〇一〇〇之ガ掃蕩ニ急行セシム、沢風燃料補給、爲横須賀ニ飯投掃二十三及驅潛五〇ヲ以テ十八日〇八〇〇ヨリ八支島南西方掃蕩ヲ行ヒタルモ敵情ヲ得ズ横海防指揮官ノ令ニ

依リ一三〇〇掃蕩ヲ止メ次期作戰準備、爲十九日一〇〇〇

横須賀ニ回航セリ

四關係主要令達報告等

別紙

五 戦果及被害

ハ 戦果

敵潜一隻撃沈（確實）

ロ 被害

でりい丸被雷沈没

六 我兵力ノ現狀

ハ 人員兵器

でりい丸沈没及同人員ニ關スル外被害ナシ

ロ 消耗兵器

9350

九五式爆雷

沢風

十二個

掃三十三

八個

計三十個

驅潜五〇

十個

七功績

敵潜撃沈一隻

右ノ外特記スベキモノナシ

八参考戦訓所見等

特設砲艦でりい丸今次遭難沈没に至ラシタル主ナル原因ハ

(一) 當夜月明(月齡ニ。月出ニ二三〇)ニシテ視界良好ナリ見張及

水測兵器(探信儀聽音機)ヨリテ警戒戒シ居タリト雖モ雷

跡ヲモ見ズ避雷 對策ヲ講ズル由ナカリシコト

(二) 驅潜五〇ノ配備距離夜間四料(當時ハ三料附近ニ占位シ

居レリ)ハ稍遠キニ失セシ嫌アリ配備上一層考慮ヲ要スベキ

0270

点アルコト

等ニシテ固キ意思スルニ艦長トシテノ不行届不注意ニシテ訓練ニ關シテモ更ニ努力ヲ要スベキモノアリ以テ今次重大事故ヲ生起シタリト謂フベシ當面作戰任務遂行ニ支障ヲ來シ且ハ帝國海軍ノ戰備ニ欠陥ヲ生ゼシメタルノミナラス折角でりい丸ヲ以テスル新作戦法ニ關シ何等得ル所ナカラシメタリ却ツテ敵ニシテヤラレタリ誠ニ申談ケ無ク遺憾至極其罪万死ニ價シ全ク恐懼ノ至ナリ

- (ロ) 對潛掃蕩水上艦艇、飛行機協同ニ依ル効果大ナルハ既戰訓ノ通ニシテ今期作戰中最初、敵潛發見ハ飛行機ニ依ルトシテ水上艦艇攻撃容易ニシテ効果ヲ得タリシハ全ク飛行機ノ誘導ニ俟ツ所ノモ、絶大ナリ
- (ハ) 後來でりい丸如キ性能具備ノ艦船ヲ建造スルニ際シテハ左

記号考慮要ス

(一) 船体強度大ナルモノタルコト

デリハ被雷時ニ於ケル感トシテハ爆音餘リ大ナラズ舷側ヨリ約十乃至二十米附近深度十米以上ニテ爆發セシモノ、如シ又被害個所構造物飛散スルモノ少ク損所直後方タル艦橋ニテハ爆風ト水柱ヲ浴ビ若干上部構造物ニ被害アリタルニ止マリ切斷セル前部ハ積木ノ崩ルル如クヘノノト解体セリ憶フニ本艦ハ建造物約二十三年ニ及ビ船体老朽セルト且第一次大戦直後建造ノモノニシテ一般ニ強度不充分ナリ僅少ノ圧カヲ加マルト雖モ船体之ニ耐エ得ザリシモノト認ム強度今少シ大ナリシナラバ損所アリト雖沈没ハ免レ得タリシニ非ラズヤト思料ス

(二) TV装置

爆發時感ジハ前次ノ通ニシテ被害後ノ情況ニ鑑ミルニ敵魚

雷ハ左前方(概テ四〇度)ヨリ來ルモノトスバTV装置ハ有効ナ
リシモノト思料ス

(三)魚雷防禦網ヲ施設スル場合ハ艦速大ナルモノニ對シ施設スル可ト認ム
下リハ九ノ原速八節(最大速力九五節)ニシテ風向ニ向フ時風
速十五米ノ場合四節減二十米以上ノ時五ノ五節以上減速ス
防禦網展張中ハ八ノ節ニ對シ四ノ五乃至五ノ〇節トナリ舵ノ利
キ極メテ惡ク一般ノ場合ノ二倍ノ費消時ヲ要ス故ニ積極對
潛攻撃ヲ企圖スル場合海上模様及協力艦艇數多寡ニ依リ
テハ防禦使用ハ不適當ト認ム

(四)此ノ種艦船ニ對シ左記兵器施設アルヲ適當ト認ム
電探

逆探

無線方位測定器

水中彈砲（八匁又八十二匁）

九。式無線電話機

五。探信儀能力ニ關シテハ研究ヲ要スベキナルヲ認ム

でり、九探信儀能力ハ八節ニテ約一五〇〇米ナリ西貢丸實驗成績ニ徴スルモ艦底平坦部面積大ナル此ノ種商船型ノ探信儀能力ハ艦艇能力ニ及バザルガ如シ艦底平坦面積大ナル商船型裝備探信儀能力ニ關シテハ研究ノ餘地アルモノト認ム

六。艦船裝備ノ吊下式水中聽音機ハ有効ナルモノト認ムでり、九裝備ノ吊下式水中聽音機ハ八節平水ナラバ同速ノ驅潛艇推進器音ヲ一五〇〇米乃至二〇〇〇米ニテ聽知シ居レリ被雷當時遂ニ聽音機ニ依ル敵魚雷音ヲ聽知シ能ハズ用ヲナサザリシハ荒天ノ爲雜音極メテ大ナル狀況ニ在リシト因料スルモ前述ノ如ク聽音機利用價値十分ニアリト認ム

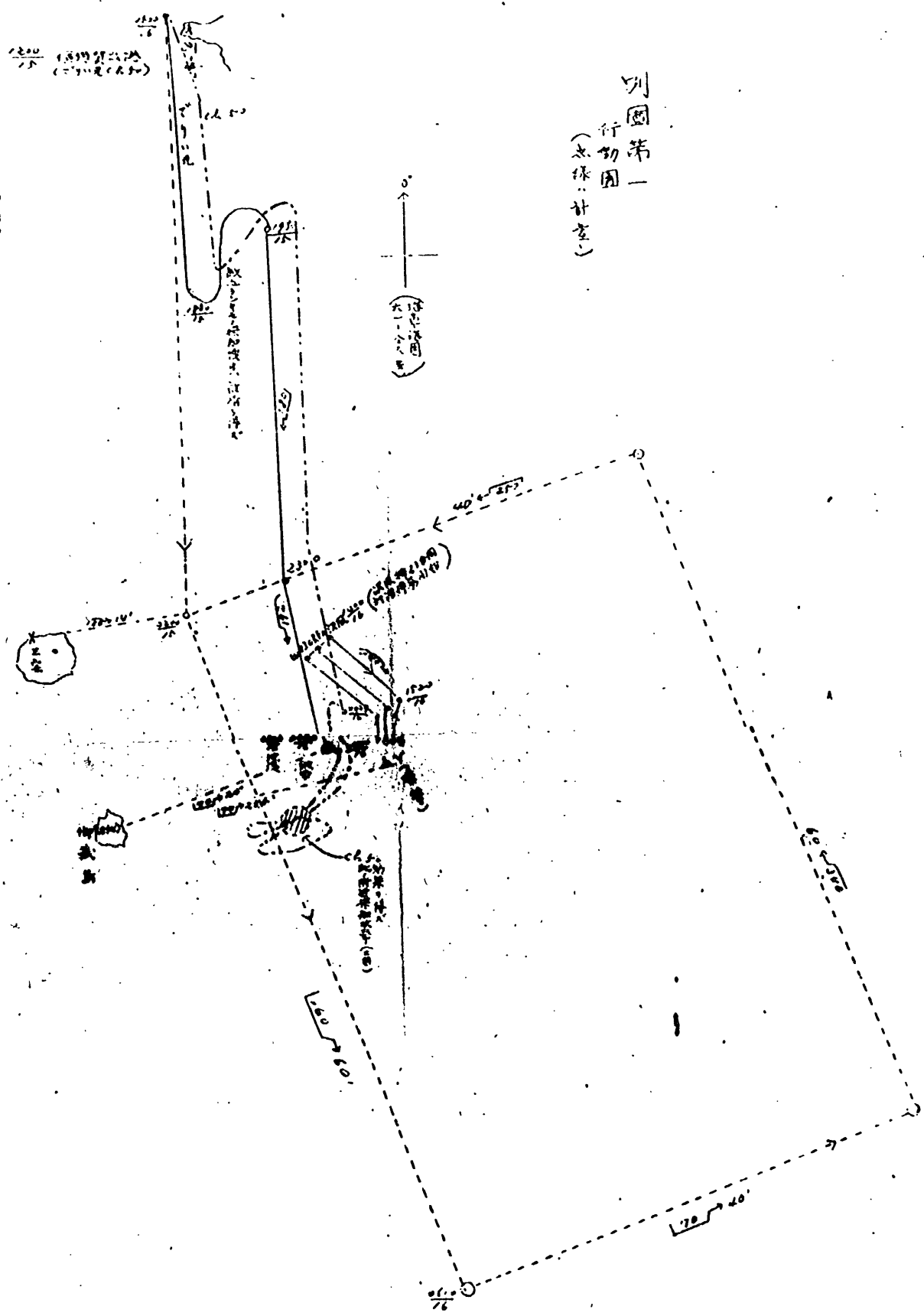
(七)之ヲ要スルニ四船式トシテ使用セントスル場合デリ、丸ニ鑑ミ左記考慮セザレハ固デリ、丸事故ヲ生起スルコト必セリ

(1) 不沈艦トスベキカ

不沈艦トスルニ防水法及浮力調節法ニ關シテハ徹底檢討ヲ要ス
 デリ、丸ニ關シテハ防水隔壁ヲ諸所施設サレタリト雖モ上方ヨリス
 ル防水ニ關スル考慮ナカリシコト又浮力調節ニ關スル施設ナカ
 リシコト簡便ナル内火式排水ポンプ 裝備ヲ上申セルモ現物ナク間
 ニ合ハザリシコト

(2) 用法ニ關シテ更ニ工夫ヲ要スベキモノアルヲ認ム
 誘致法消極的ニ流ルレバ敵艦警戒シ之ニ乘リ來タラス大膽ニ過グル
 敵ヨリ反撃ヲ受ク 要ハ敵ト刺シ違ヘテ悔ナキデリ、丸カ否
 カニ依リテ決スベキモノニ非ズヤト思料ス

(終)



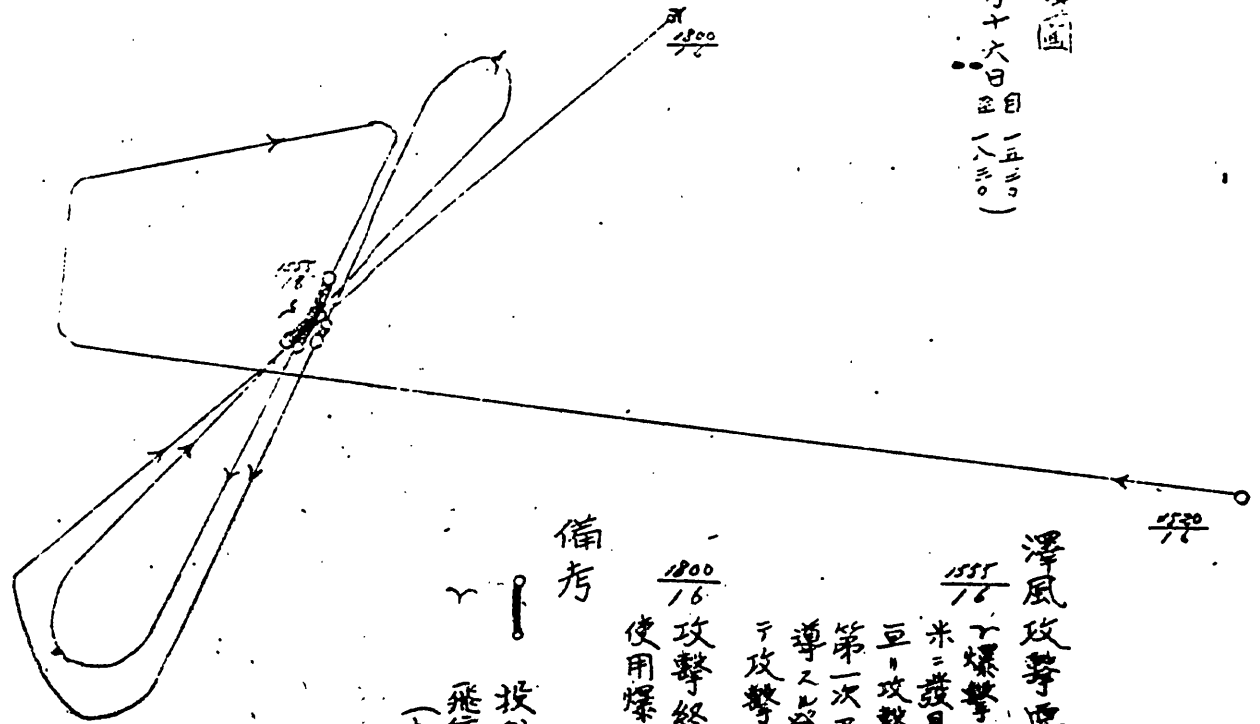
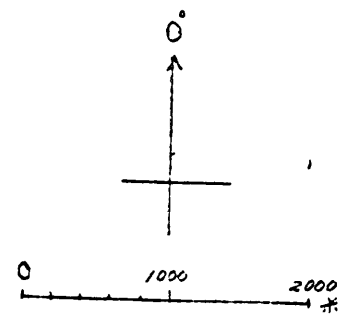
第一行動圖
(点検計畫)

0430

別冊

澤風對塔攻勢圖

(昭和十九年一月十六日 日三三三)



澤風攻勢要領

1555/16 下爆撃スルヲ南西方10000
米ニ發見之ニ向首ニ三
豆ニ攻撃

第一次及第二次ハ、誘
導スル發光器ヲ目標トシ
テ攻撃

1800/16 攻撃終了
使用爆雷數 第一次
第二次
第三次

備考

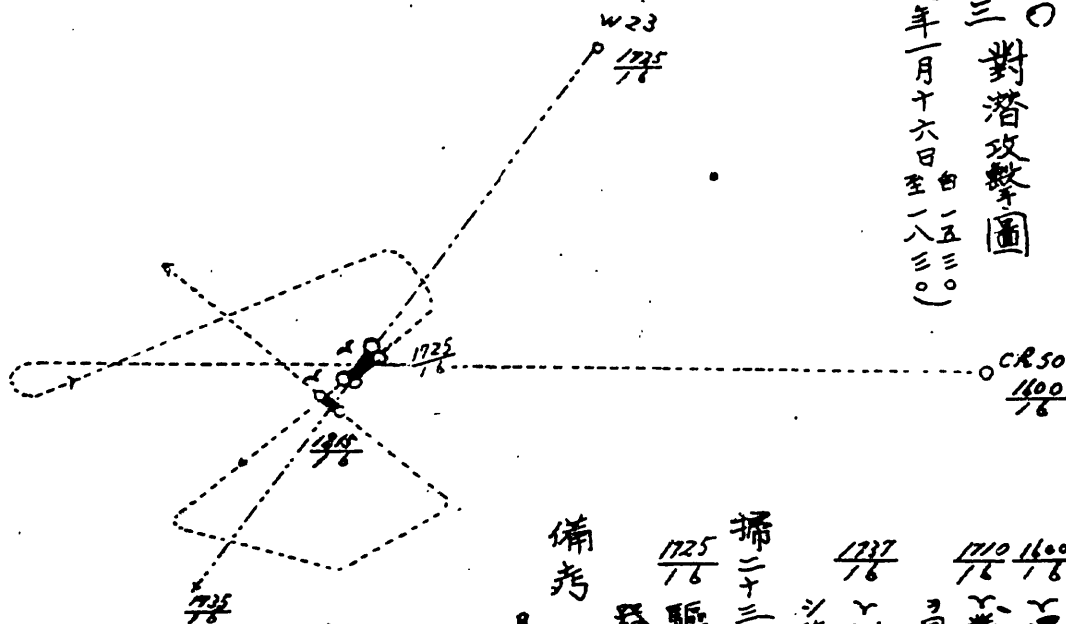
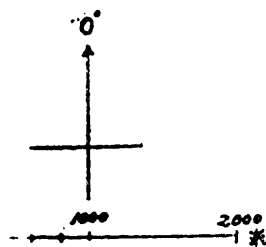
↑ 放射線

飛行機爆撃

(御藏島ノ七七度三三度)

別圖第三

驅落五〇 對潛攻撃手圖
掃二十三
(昭和十九年一月十六日 自一五三〇至一八三〇)



攻撃要領
驅落五〇

1600/76 爆撃地帯ニ向ケ探信掃蕩

1710/76 差光機(沢風攻撃ニ引續ト)

ヨ目標トシテ攻撃(使用爆雷数八)

1737/76 箱ニ〇〇米爆撃直ニ之ニ對

シ攻撃(使用爆雷数二)

掃二十三

1725/76 驅落五〇攻撃ニ引キ續キ發光

路ヲ目標トシテ攻撃(使用爆雷数八)

備考

↓ 投射線

飛行機ノ投下セル發光器
及爆撃ヲ示ス
(御減島ノ七七度三三五度)

別紙

主要今達報告等

<p>發日 元時</p>	<p>十四日 〇四三〇 横鎮長官</p>	<p>十四日 〇七二五 横海防指揮官</p>
<p>受日 元時</p>	<p>十四日 〇七一〇 横海防指揮官 下り凡 駆潜五〇 館空司令 伊勢湾B指揮官 東京湾B指揮官</p>	<p>十四日 〇九三〇 下り凡 駆潜五〇 館空司令 横鎮參謀長 東京湾B指揮官 伊勢湾B指揮官 海上護衛部部長</p>
<p>令達報告等</p>	<p>機密横鎮信電今作第ニ七号 一海防指揮官ハ駆潜及駆潜五ニヨリ速ニ横須賀ニ回航セシムベシ 下り凡及駆潜五〇ヲ以テ乙作戦支隊ヲ編成ハ文島東方海面ニ於ケル別示作戦ニ任セシム</p>	<p>機密横海防電今作第一〇号 機密横鎮信電今作第ニ七号關聯 一駆潜五〇及駆潜五二ハ現任務ヲ打切リ速ニ横須賀ニ帰航スベシ 下り凡及駆潜五〇ハ横鎮所定ハ文島東方海面作戦ニ從事スベシ 三館空司令ハ第一項作戦ニ協力スベシ</p>
<p>種別</p>	<p>線 無</p>	<p>線 無</p>

<p>十五日 一五〇八 横鎮長官</p>	<p>十五 一〇〇〇 下りい丸砲艦長</p>
<p>十五日 二二〇〇 横海防指揮官 下りい丸、沢風 五二掃司令 掃二十三、六風 千鳥 伊勢湾B指揮官</p>	<p>十五日 二二三〇 沢風、掃二十三 五二掃司令 横鎮參謀長 海防指揮官 初島 館空司令 八丈島派遣隊 東京湾B指揮官</p>
<p>機密横鎮電令作第三ニ号 一海防備部隊指揮官ハ旗風ノ敵掃掃蕩ヲ中止 驅逐艦長ヲシテ千鳥ヲ合セ半井第八二大船團ノ 護衛(旗風ハ適宜護衛航路ノ中間ニ於テ船團部 隊ニ合同スルコトヲ得)ニ任ゼシムベシ 二海防備部隊指揮官ハ第五ニ掃海隊ヲ掃蕩 ヲシテ横須賀ニ掃蕩八丈島方面ノ作戦ハ下り い丸砲艦長ヲシテ指揮セシムベシ</p>	<p>下りい丸及駆潜五〇八一ニ。横須賀出撃 三三〇〇A點(三宅島灯台ノ八〇度十三度)着 事後針路航程一六〇度六〇。理(B)七〇度四〇 理(C)三四〇度六〇。理(D)ノ矩形線上ヲ索 敵掃蕩ス 速力八節</p>
<p>線 点</p>	<p>線 無</p>

<p>十五日 一五二一 横領參謀長</p>	<p>十五日 一七三五 五三掃司令</p>	<p>十五日 二〇四〇 横海防指揮官</p>
<p>十五日 二一〇〇 横海防指揮官 航空司令 下り凡 隊附近敵潜水発見 航空兵力ノ全カヲ以テ之ニ策應其ノ必 減ヲ期スル様配慮相成度</p>	<p>十五日 一九一五 澤風掃三三 横領長官 航空司令 横海防指揮官</p>	<p>十五日 二二〇〇 五三掃司令 澤風掃三三 航空司令 横領參謀長 航空司令</p>
<p>下り凡機密第一五一。香電關聯 下り凡部隊ノ作戦(云作戦ノ時機)中同部 隊附近敵潜水発見セル場合ハ機ヲ失セズ 航空兵力ノ全カヲ以テ之ニ策應其ノ必 減ヲ期スル様配慮相成度</p>	<p>〇〇。以テ五三掃機密第一五二。香電 依ニ掃蕩区域ノ南北・折半北側澤風 南側掃三三機宜索敵行動ト</p>	<p>電令作第一二五 機密機密電令作第三三子關聯 五三掃海隊(掃三三機)ハ現任務ヲ中止横 須領ニ掃枚スベシ 八丈島方面ノ作戦 下り凡機密長之ヲ指揮スベシ</p>
<p>線</p>	<p>線</p>	<p>線</p>
<p>線</p>	<p>線</p>	<p>線</p>

<p>十六日 〇二〇〇 下り丸砲艦長</p>	<p>十六日 〇三〇〇 全 右</p>	<p>十六日 〇三〇〇 横鎮長官</p>	<p>十六日 〇三一二 横鎮長官</p>
<p>十六日 〇二〇五 駆潜五〇艇長</p>	<p>十六日 〇三二五 全 右</p>	<p>十六日 〇四三〇 下り丸(駆潜五〇) 沢風 掃三十三 横空 館空</p>	<p>十六日 〇四三〇 東京湾日指揮官 横海防指揮官 下り丸(駆潜五〇) 横通横港横廠 横病 横海園 澤風 駆潜五〇 掃三十三 横空 海上護衛參謀長</p>
<p>其後艦隆起シツツアルモ後進可能ナリ 速方一節駆潜五〇附近海面掃蕩中</p>	<p>炭庫ニ浸水船体左舷ニ傾斜シツツアリ極力排水 中ナルモ危険状態ナリ 北西ノ風十米波浪五ウネリ高ト航行不能ナリ</p>	<p>横空横鎮信電令作弟三三三(下り丸)ニ 下り丸ニ見島ノ七〇度ニ漂ニ於テ敵潜ノ雷撃ヲ 受テ横空司令ハ飛行機ヲ以テ速ニ敵潜ヲ探 知攻撃スベシ 横密横鎮信電令作弟三五子 下り丸〇三〇三見島ノ七〇度ニ漂ニ於テ敵潜ノ雷 撃ニ依リ横傷ス(指切断航行不能沈没ノ虞ナシ) 二兩救難隊津浦出来次第速カニ登陸下り丸 ヲ横須賀ニ曳航スヘシ</p>	<p>下り丸沢風掃三十三駆潜五〇及東京湾部隊派 進隊ハ下り丸砲艦長之ヲ指揮敵潜ヲ捕 捉撃滅スベシ</p>
<p>線 点</p>	<p>線 点</p>	<p>線 点</p>	<p>線 点</p>

<p>全 右 十六日。六。〇</p>	<p>驅潜五。艇長 十六日。〇四二〇</p>	<p>十六日。〇四四。〇 下りハ丸沈没後連 続艇指揮</p>	<p>横鎮長官 十六日。〇三四五</p>	<p>驅潜五。艇長 十六日。〇三三〇</p>
<p>十六日。六。〇 横海防指揮官 (横鎮參謀長)</p>	<p>十六日。〇四四五 横海防指揮官 横鎮參謀長 館空、澤風 硫黄島派遣隊</p>	<p>十六日。〇三四。〇 驅潜五。艇長</p>	<p>十六日。〇五三〇 驅潜五。 澤風掃ニナシ 横海防 館空</p>	<p>十六日。〇三三〇 下りハ丸砲艇長</p>
<p>〇五四。下りハ丸砲艇長ヲ救助ス</p>	<p>〇四三〇。下りハ丸沈没ス我人命救助中</p>	<p>本艇カッター船方向ニ漂流踏躓者拾獲シテ揚收 御願ス</p>	<p>敵情及攻撃ノ状況ヲ至急報告セヨ 敵ヲ遠シニ様々撃ヲ續行セヨ横空飛行機 協同攻撃ヲ為テ進</p>	<p>潜水艦連續探知シ折返シ爆雷攻撃八回ヲ ナシ引續キ攻撃セントシタルモ距離大。感ニ テリ忽然感度消滅ス其ノ後探知ノ身トモ行方不明</p>
<p>線 魚</p>	<p>線 魚</p>	<p>光 魚</p>	<p>線 魚</p>	<p>光 魚</p>

<p>十六日 〇七三 横鎮長官</p>	<p>十六日 〇七三 東京湾日指揮官</p>	<p>十六日 〇七三 横鎮長官</p>
<p>十六日 〇八三〇 聖澤五〇艇長</p>	<p>十六日 〇八五〇 横海防指揮官 横鎮參謀長 東京湾日指揮官 館空司令</p>	<p>十六日 〇九一八 初島、掃二十三 聖澤五〇、横港 海防指揮官 東京湾日指揮官 横廠長、横通</p>
<p>〇一〇ニ敵機放射射爆雷二個 〇二五敵潜水艦ヲ探知シ三個投下同英艦光 器ヲ收入シ〇ニ三九更ニ五個投下爆 雷(合計十個)攻撃ヲナス 荒天為船体動揺甚シク放射機使用 不能</p>	<p>〇一〇ニ敵機放射射爆雷二個 〇二五敵潜水艦ヲ探知シ三個投下同英艦光 器ヲ收入シ〇ニ三九更ニ五個投下爆 雷(合計十個)攻撃ヲナス 荒天為船体動揺甚シク放射機使用 不能</p>	<p>機密横鎮信電令作第三七号 〇一〇ニ九砲艦長八部下適宜艦艇ニ移乗 作戰ヲ續行セヨ 内救難隊ノ出撃ヲ取止メ其ノ編成ヲ 解ク 〇一〇ニ九砲艦長八部下適宜艦艇ニ移乗 作戰ヲ續行セヨ 内救難隊ノ出撃ヲ取止メ其ノ編成ヲ 解ク</p>
<p>無</p>	<p>無</p>	<p>無</p>

<p>十六日 一三〇五 下り丸砲艦長</p>	<p>十六日 一三〇五 下り丸砲艦長</p>	<p>十六日 〇九一五 駆替五〇艦長</p>	<p>十六日 〇八五〇 澤風艦長</p>
<p>十六日 一三〇五 横鎮参謀長 横海防指揮官 横風部指揮官 館空 横空</p>	<p>十六日 一三〇五 横鎮参謀長 横海防参謀 館空司令 横空司令 砲黄島派遣隊</p>	<p>十六日 〇九一五 横鎮参謀長 横海防指揮官 館空 横空司令</p>	<p>十六日 〇九一〇 横鎮参謀長 館空司令</p>
<p>我昏睡状態ヨリ醒ナリ只今ヨリ掃蕩 隊ノ指揮ヲトル</p>	<p>下り丸暗掃書カッターニ移来シ居リシ所始 体動搖為短艇索切斷漂流極力搜索ニ努 メツアルモ未ダ發見セズ飛行機協力御 配慮ヲ乞フ</p>	<p>敵潛ヲ発光器附近ニテ殆ド停止セルヲ測定 シム。距離六〇〇。感ニ迅速ニタル所急感 度消滅シタルヲ以テ極力探知ニ努メタルモ其ノ 後敵情ヲ得ズ尚掃蕩續行中</p>	<p>我駆替五〇ト合同遊離現場御威高ノ大ニ度 ニ。運速ニ合同セヨ</p>
<p>線 魚</p>	<p>線 魚</p>	<p>線 魚</p>	<p>線 魚</p>

	<p>館 空 横海防指揮官</p>	<p>シ九。度及一八。度方向ニ各五。理兵ヲ精海軍 使用機数担任時間常時ニ機トレ一七。〇。コリ 三。〇。迄横空其他館空トス</p>	<p>線 無</p>
<p>十六日 一五。二 澤風 艦長</p>	<p>十六日 一五。二 横海防指揮官 東京湾日指揮官</p>	<p>敵潜水艦 野島崎灯台ノ一八。九度五。五度 一五。〇</p>	<p>線 無</p>
<p>十六日 一六。〇 全 右</p>	<p>十六日 一六。〇 横海防指揮官 東京湾日指揮官</p>	<p>我飛行機 爆撃地矣。急行有敵機射ヲ又 御藏あし七五度ニ四理掃海隊全カヲ以テ機 索攻撃中一。六。〇</p>	<p>線 無</p>
<p>十六日 一七。四 全 右</p>	<p>十六日 一七。四 横海防指揮官 東京湾日指揮官</p>	<p>効果アリ更。全カヲ以テ攻撃中一。七。四。</p>	<p>線 無</p>
<p>十六日 一八。一 下り凡砲艦長</p>	<p>十六日 一八。一 澤風 掃ニ二三 横海防指揮官 信空、横空</p>	<p>今夜、配備左ノ通 三六。度ヲ三分シ攻撃矣(三三。度ノ一。八度五。理、 九。度ヨリ二。一度迄掃ニ二三 三。〇。度迄駆逐五。〇。九。度迄澤風掃海 隊ニ。理</p>	<p>線 無</p>

<p>十六日 二五二三 横海防指揮官</p>	<p>十六日 一九四〇 澤風艦長</p>	<p>十六日 一九〇〇 下り丸艦長</p>
<p>十七日 〇九五〇 澤風 機三三三 横海防指揮官 初島 (生)</p>	<p>十六日 二二三止 横鎮長官 横海防指揮官 東本島 指揮官 距着五〇 館 (空)</p>	<p>十六日 二二五〇 横鎮長官 横海防指揮官 横鎮 館(空)</p>
<p>下り丸 暗礁 高短艇 搭載ノマ 漂流中 ニ付テ 各艦艇 飛行機ト 協カシ 発見ニ 努ムベシ</p>	<p>飛行機ノ 誘導ニ 依ル 脅威 被射ノ 結果 油紋 ノ 湧出ヲ 認メ 次ヲ 数次ニ 至ル 攻撃ニ 依リ 油紋 擴大シ 日没 直後 火焰ヲ 伴ヘル 木柱(飛行機ノ 爆撃ニ 依レモ、ナリ) 敵着ニ 依ルモ、不明) 一上 レリ 認ム 事後 更ニ 攻撃ヲ カヘタルモ 夜陰ノ 為 効 果ヲ 確認 スレモ、至ラズ 引續キ 探信 搜索セシト ス</p>	<p>一五五五 澤風 敵着ヲ 察見 攻撃 事後 飛行 機ノ 協同ニ 依リ 三隻ヲ 以テ 一八一五 逆送 次連 續 攻撃ヲ 行ヒタルモ 効果 不明 地點ニ 是島ノ 一〇八度 三〇 度</p>
<p>線 点</p>	<p>線 点</p>	<p>線 点</p>

<p>十七日。〇四一。 東京湾口艦隊</p>	<p>十七日。一三二。 下凡丸砲艦長</p>
<p>十七日。〇六〇。 東京湾部隊 澤風 駆潜五。 海防指揮官 横領 長官 館 空</p>	<p>十七日。一三五。 横領 長官 横海防指揮官 横 空 澤 風 掃 二二</p>
<p>各艇、直、各哨区、進出待令スル迄封港 掃蕩ヲ續行スベシ 初島、B哨区(四五七)掃蕩ナシ、KA哨区 (七八九)興海丸掃蕩ナシ、駆潜四三、四四、L A哨区、大功丸、駆特六八、第一哨隊、第五第 六哨区、二五三、駆特第一哨隊、第九哨区 第一、第二玉團丸、MA哨区(一二三)</p>	<p>飛行機ノ誘導ニ依リ聯合投射ノ結果 油湧出ヲ認メタルニ日没トナリ効果ヲ充 分確認シ得ズ、夜明ヨリ効果ヲ檢知スルニ攻 撃兵ヨリ相當多量ノ油湧出北東方へ流 出ス幅約一〇〇米尚澤風一〇〇噸物凍 キ氣泡柱ニ油ノ湧出ヲ認ム以上ノ状況ヲ錄 合シ專沈確實ト認ム</p>
<p>線</p>	<p>線</p>

<p>十七日 一七二二 東京湾 指揮官</p>	<p>十七日 一五〇〇 下りの丸 艦長</p>
<p>十七日 二一〇〇 東京湾 指揮官 (海丸 梅鎮 海防 館主)</p>	<p>十七日 一六〇〇 横銀 参謀長 横海防 指揮官</p>
<p>敵情、得た。現任務ヲ止ム 大功夫 駆特大八八 館山 駆特四三四 下田 掃技補 給スベシ 初島 興海丸 掃特ナニシテ、下りの丸 艦長 指 揮下ニ入り 掃海ヲ 續行スベシ</p>	<p>本艦沈没約三十分前時 號言拾載セル短艇 波浪、為流出セルヲ以テ直ニ救助艇ヲ派遣 シ之ヲ捕捉。向ハレムクルニ 暗號書短艇トノ 距離、約二〇〇米附近ニ近寄リタルニ波浪 次第ニ大トナリ 運航困難トナレリ 救助艇 駆落五〇ニ救助サレ事後 搜索セルニ 見當ラズ其ノ後 飛行機 澤風ト共ニ 廣範 圍ニ 搜索セルト見當ラズ 當時ノ海上 状況ニ依リテ短艇ハ 顛覆シ 暗号書ハ 沈下セ ルモト認ム 尚浮流物 附近ニ 廣範圍海 面ニ於テ 重要物件ノ 浮流スルヲ 認ムズ</p>
<p>線 魚</p>	<p>線 魚</p>

七

<p>十七日 二一〇。 でり丸砲艦長</p>	<p>十七日 二一三五 横海防指揮官 横鎮参謀長 (掃特十三)</p>	<p>一七五〇番電ニ依リ暗号書格載ソカ ツターハニセノニシテ發見セルニセノユ カッター(搜索為派遣)ノ附近ニ漂流シ アル筈</p>	<p>点</p>
<p>十七日 二一三五 でり丸砲艦長</p>	<p>十七日 二一三五 澤風掃二十三</p>	<p>明十八日〇七〇。攻撃地兵ニ集レ</p>	<p>線</p>
<p>十七日 二一三五 横鎮長官</p>	<p>十八日 〇〇〇〇 横海防指揮官 横鎮参謀長 配津五〇掃二十三</p>	<p>二二〇九敵潜水艦緊急信送信中 八丈島ノニ四六度 五七度</p>	<p>線</p>
<p>十八日 〇一三〇。 でり丸砲艦長</p>	<p>十八日 〇一三〇。 横鎮参謀長 横海防指揮官 横鎮機密隊一七ニニ六番電開談 八丈島南西方出現敵潜水艦ヲ撃滅セント ス各艦艇急行セヨ</p>	<p>八丈島ノニ四六度 五七度 渚地英附近掃蕩 中ナルモ未ダ敵情ヲ得ズ</p>	<p>線</p>
<p>十八日 〇九〇〇。 掃二十三艇長</p>	<p>十八日 一三〇〇 肥前五〇 横鎮長官 横鎮機密隊 館空司令</p>	<p>我石炭残額 三五噸</p>	<p>点</p>

<p>十八日。八四五 横海防指揮官</p>	<p>十九日。八〇〇 でりい丸砲艦長</p>
<p>十八日。一〇四〇 澤風・駆潜五〇 掃二十三 (横鎮長官)</p>	<p>十九日。一〇〇〇 横鎮長官 横海防指揮官</p>
<p>掃二十三・駆潜五〇・澤風・横海防ヲ中止シ 横須賀ニ帰放補給至命ヲ待テ</p>	<p>生行者准士官以上四名(艦長・軍醫長 兵曹長二名)下士官兵三十九名内軍屬 二名行方不明者准士官以上七名 下士官 兵一四四名内軍屬六名</p>
<p>線 点</p>	<p>線 無</p>

終

死		戦	
砲 員	砲 員	砲 員	砲 員
電信員	電信員	電信員	電信員
氣象員	氣象員	氣象員	氣象員
暗号員	暗号員	暗号員	暗号員
奇護社員	奇護社員	奇護社員	奇護社員
應急員	應急員	應急員	應急員
傳令員	傳令員	傳令員	傳令員
一等海軍少佐	一等海軍少佐	一等海軍少佐	一等海軍少佐
二等海軍少佐	二等海軍少佐	二等海軍少佐	二等海軍少佐
二等海軍少佐	二等海軍少佐	二等海軍少佐	二等海軍少佐
根岸良造	根岸良造	根岸良造	根岸良造
黒田捨一	黒田捨一	黒田捨一	黒田捨一
魚住潤雄	魚住潤雄	魚住潤雄	魚住潤雄
伊豆野榮吉	伊豆野榮吉	伊豆野榮吉	伊豆野榮吉
土岐健藏	土岐健藏	土岐健藏	土岐健藏
大芝文雄	大芝文雄	大芝文雄	大芝文雄
海老原金吾	海老原金吾	海老原金吾	海老原金吾
永野喜重	永野喜重	永野喜重	永野喜重
荒正十郎	荒正十郎	荒正十郎	荒正十郎
大澤宗男	大澤宗男	大澤宗男	大澤宗男
篠崎音吉	篠崎音吉	篠崎音吉	篠崎音吉
長田邦治	長田邦治	長田邦治	長田邦治
米田精男	米田精男	米田精男	米田精男

0451

死										戦										
探	投	彈	供	彈	砲	測	指	機	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
信	下	庫	給	庫	員	巨	揮	銃	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
員	機	長	長	員	員	長	所	員	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
高	杉	杉	松	金	竹	高	杉	高	岡	鶴	峯	瀧	高	杉	高	岡	鶴	峯	瀧	高
山	本	山	下	井	内	橋	山	槻	田	岡	岸	口	山	山	山	田	岡	岸	口	山
清	留	山	達	壽	松	良	政	鶴	喜	茂	重	音	山	山	山	田	岡	岸	口	山
	五	貢	雄	雄	彦	仁	由	八	作	衛	作	吉								
	郎																			

戦 死												
探偵員	"	"	機	砲	射	"	"	砲	"	射	弾庫員	供給員
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
松岡西蔵	高橋武夫	岸芳夫	田邊衛	秋田幸紀	安藤秋光	高野常一郎	外谷盛治	初瀬川正男	高木俊男	大槻芳雄	五所幾重	佐藤鶴太郎

死 戦												
應急員	"	"	通風員	燕池員	信号員	爆雷車員	投射幹部	信号員	"	"	電信員	
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	
工作兵長				機關兵長								
半藤春忍	平山英一	菊池正男	林文吉	市川久二郎	龍澤五郎	佐野重司	原吉恵	井坂定康	小堀俊忠	沼田重雄	伊藤藤亀	清水弘雄

死						戦						
"	"	焚 火員	注 油員	傳 令員	焚 火員	電 信員	氣 象員	"	指 揮所員	砲 手	"	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
					上等機關兵							
田 辺 正 夫	柴 田 正 男	越 沼 菊 茂	天 川 四 郎 次	小 林 勝 美	高 橋 喜 久 壽	佐 藤 繁 次	深 尾 隆 造	西 山 一 司	田 島 秋 次 郎	富 澤 清	佐 藤 三 郎	小 林 政 雄

戦										
注油員	傳令員	"	注油員	"	"	砲員	操舵員	"	"	投針機員
"	"	"	一等機關兵	"	"	"	"	"	"	"
松村 巨	佐藤 恭雄	齊藤 豊一	金子 三男	小林 久男	古屋 美丸	小林 甲子男	館山 甚悦	長谷川 由松	古屋 俊夫	近藤 春由
										白井 英一郎
										松崎 勇次

0461

横領及諸種機密等
號

昭和十九年一月二十九日

でりい丸砲艦長

特設砲艦でりい丸被雷沈没報告

一部

(別紙添)

(終)

本件提出先

海軍大臣 軍令部總長 横領長官 横防戦司令官